

令和7年度 第1回地域連携推進会議

山陰ホーム議事録

日時：令和7年11月19日（水）14：00～15：45

場所：社会福祉法人 山陰会 自然寮相談室

出席者

地域連携推進構成員

委員1 行政

委員2 福祉知見者

委員3 地域代表

委員4 家族代表

委員5 利用者代表

委員6 山陰ホーム管理者

委員7 山陰ホームサービス管理責任者

委員8 自然寮サービス管理責任者

委員9 生活支援員

1. 開会あいさつ
2. 出席者紹介
3. 施設訪問・説明
4. 個人情報の取り扱いに関する留意事項
5. 基本理念
6. 施設紹介
7. 質疑応答

1. 開会あいさつ 14:00～

委員6「平素より当事業所の運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。ご利用者と地域との関係づくりや、地域の方への施設やご利用者に関する理解の促進等を目的として、施設の外部の方を構成員とした（地域連携推進会議）を定期的開催する事が義務付けられました。当事業所も地域の一員であることを意識しながら地域の皆様と連携し合う関係を作ることが大切であると考えております。また、皆様方のご理解とご協力、地域連携推進会議についての積極的なご意見を頂ければと思っておりますのでよろしくお願い致します。」

2. 出席者紹介

3. 施設訪問 グループホーム F 14:16～

居室・トイレ・浴室・食堂を見学

委員6「こちらのグループホーム F は基本的に高齢者を対象とした建物になっております。」

委員7「女性7名入居可能で現在1名の空きがあります。居室は一人1部屋ずつあります。」

委員6「個室の窓ですが火災等があった際、窓から避難できるようになっています。」

委員3「掃き出し窓になっているのですね、腰窓だと越えて行けないですね。」

委員6「トイレは2つあり、1つは一般的なトイレで、もう1つは車椅子のまま入れるようになっています。トイレ横には浴室があり、こちらも車いすのまま入れます。浴用いすを使用しながらのシャワー浴の出来る仕様です。バスタブも大きいものを入れております。」

全員「どこも広くて良いですね。」

委員6「食堂横の部屋は夜勤で使用できるようにベッドを置けるスペースも取っております。」

委員6「現在の外壁の色はあまり好きではなくて、希望は虹色にしたいんですけどね。」

委員2「全体的にきれいな建物ですよ。」

4. 個人情報のお取り扱いに関する留意事項

委員8「会議、施設訪問にご参加いただく中で、ご利用者の個人情報に触れる可能性があります。ご利用者やそのご家族様の中には、障害がある事や障害福祉サービスを利用している事を他者に知られたくない方もいらっしゃいます。ご利用者の権利擁護

の為、地域連携推進会議で知りえた個人情報、外部へ漏らすことがないよう、格別のご高配お願い致します。」

5. 基本理念

委員 8「基本理念といたしまして、人間的成長と発達を保証し、基本的人権と個人としての尊厳と誇りを尊重し、障がいの有無に関わらずその人らしい充実した地域生活が送れるように様々な活動の場を提供します。

- ・選択制の充実を図り、自己主張と自己決定意思を尊重した支援を行います。
- ・社会自立の促進を行い、地域生活を支援します。」

6. 施設紹介

委員 7「グループホーム紹介をします。山陰ホームには6つのグループホームがあります。

グループホーム A…定員男性6名、入居者6名 30代～70代入居 一般就労2名・就労継続支援 A 型1名・就労継続支援 B 型2名・生活介護1名

グループホーム B…定員男性4名、入居者3名、40代～70代入居 一般就労1名・生活介護2名

グループホーム C…定員3棟各2名、入居者3名各棟1名（男性2名女性1名）40代名、60代2名一般就労1名・自宅作業1名・就労継続支援 A 型1名

グループホーム D…定員男性6名入居者4名 30代～70代入居 一般就労2名・就労継続支援 B 型1名・生活介護1名

グループホーム E…定員女性3名、入居者3名 30代入居 就労継続支援 A 型1名 就労継続支援 B 型2名

グループホーム F…定員女性7名 入居者6名 30代～70代 就労継続支援 B 型1名・生活介護5名です。

休日等は地域とのふれあいで深江町行事（市民清掃、ペタンク大会、文化祭等）へ参加されました。また、町内での買い物、公共交通機関を利用し島原買い物や外食など、各自好きな事をして自由に楽しまれています。

今年はペタンク大会にお誘いいただき、18名のご利用者が参加することができました。地域の方々からご指導をいただきながら楽しめました。今後も町内の行事などございましたら、参加させていただきたいので是非お声掛けください。」

委員 6「グループホームの説明ですが、うちの場合2名～7名のグループホームと幅が広く、男女別で主に大野木場地区で生活するグループホームになっております。

働いている方達の利便性も考慮しそれぞれのホームで生活されております。

スプリングラーは高齢者向けホームに2か所設置しております。

相談事業所は、法人に1つが基本だが、当方2箇所あり他とは違う相談事業のカタチかなと思っております。

グループホームも始めて40年程になりました。海外の施設とも姉妹提携しているのも珍しいかなと思います。

地域の行事があればできる限り参加するようにしています。

買い物については、月に1~2回程島原買い物を推奨しております。

大野木場地区のホームはわりと自治会とのつながりも強く、自治会行事には新年会等にも参加しています。」

7. 質疑応答

委員8「質疑応答に入らせていただきます。委員1様何かありますか？」

委員1「グループホームFには30~70代の方が6名いらっしゃるのですが、介護保険を受けていらっしゃる方は居るか？という事をお尋ねしたいことが1つ。地域とのかかわりで市民清掃などのくらいの頻度で参加されているのかを教えてください。」

委員7「介護保険はまだ受けてないです。30代の方1名で他は70代前後の5名なので、地域の清掃等には中々参加できなくなって、近くのコンビニやスーパー等の買い物も30代の方は他のホームの方々と行くことができているが、他の5名は支援員が同行しています。

支払いの支援等が必要な状況にあり移動手段も車を出したり、時にはタクシーを利用しながら支援を行っております。」

委員1「ありがとうございます。」

委員6「グループホームFは介護保険を受けている方は居ない状況ですが、他のホームで介護関係の話がありました。介護関係の施設へ体験に行った利用者様が居たのですが、周りが知らない人達に囲まれ話題なども違っていたりしたこともあり、本人様の意向で今まで利用していた生活支援の方へ戻られた事がありました。高齢になったら介護施設への移動も一つの選択肢ではあると思います。しかし、今まで生活してきた環境が急が変わってしまうのを好まない方もいらっしゃるので、その気持ちを無下にするわけにもいかないかなと私共は思っています。

あと、地域活動となった際に深江の町内へ行かなければならないので、そうすると下の方へ行くことになり天候が良い時は良いのですが、雨天は大変になります。以前は生け花等を習っている方達もいたのですが、高齢になり徐々にできなくなってきたりしている。もともとは皆様外へ出て参加していたんです。

買い物等をする時も支払い時に計算ができない方もいらっしゃるの、レジで計算をしてもらい、必要な金額を支払い領収書を必ずもらってくる。そのようにルールを決めている。そのような事も地域の方に見えない部分でフォローしてもらっているの、とても感謝しております。」

委員8「委員2様どうぞ。」

委員2「部屋を見せてもらいましたが、立派な部屋でバリアフリーになっていたり手すりがしっかりあって、安全で高齢の方も生活しやすいだろうなと思いました。スプリンクラーや消防への通報装置も付いていて良かった。この様な仕事をしているとヒヤッとしたり、ハッとしたりする事が沢山あると思います。そこで今回ヒヤリハットの雛型をもってきております。

この雛型に沿って、うちでは再発防止に努めております。二か月に一度推進会議を行っており、それを20年以上続けております。そうして運営に生かしていこうと思っております。また、月に一回広報誌を発行しており、行事や流行病の状況や、防災訓練を行った際は、反省点も掲載し、防災食を昼食に提供したりすると利用者さんも喜んでくれる。

ヒヤリハットと広報誌をお分けするので、参考になればと思っております。」

委員8「ありがとうございます。参考にさせていただきます。委員3様どうぞ。」

委員3「一般就労Aは広域農道の途中にあるところですか？」

委員6「布津の広域農道にもありますね。」

委員3「通勤はどのようにされているのでしょうか？」

委員5「会社のほうから迎えに来てもらっています。」

委員3「なるほど、車か何かでお迎えに？」

委員6「そうですね、朝は各グループホームに職員が1名居ますが、各々出勤していく中一人一人に付くわけにはいかないのです、就職するときに事業所様へその旨を伝えてあります。仮にバス通勤する場合はバスの時刻を伝え、その時間に合わせて対応してもらったりしています。」

委員6「急に体調が悪くなった場合等は、こちらから迎えに行ったりしております。現状公共交通機関がほぼ使えないので、送迎をしてもらっています。

朝は国道で乗せてもらい、帰りはグループホームまで送ってもらっております。就労先の都合もありますので、忙しい時期には勤務数を増やし、夏場などのわりと忙しくない時期は週休二日で勤務したりもあります。

委員4「子供さんは勤務地が近いのもあり、朝は時間の都合上送迎で、帰りは徒歩で帰宅しています。彼女は非常に真面目で優秀。自分の意見もきちんと伝えることができエースですよ。私は何も言うことはありません。」

委員4「コロナが流行ってからは子供には会っていませんが、どのように生活しているのか聞いて良かったです。」

委員6「ぜひ会ってください、もう帰宅している頃なので」

委員8「この後立ち寄ってみてください。」

委員6「自分で生活していけるといのは本当に大事なことです。」

委員4「そうですね、自立するという事は大切ですもんね。」

委員6「やはり親が先に動けなくなったり亡くなることが多いので、本人達がきちんと生活できれば安心です。

私たちの理事が、昔は障害のある方が居るお宅では家庭を犠牲にしているところが多く、その方達を施設でお預かりし、家族も人生を楽しんでもらい、本人様たちも生活をできるようにしてもらおう。そうすることで、親御さんも老後心配なく過ごせる。それが山陰会の基本的な考え方になります。

なので、私は働く人には遊びなさいと伝えています。委員4子供さんはアイドルのファンクラブにも入っていましたね。」

委員4「そうですね、そのあたりも好きなことをさせていただけて助かっております。」

委員6「一生懸命働いて、自分の楽しみを見つけて生活できれば良いなと思っております。運転免許も取りたい人を募った時10人程手を挙げ、原付免許を受けに行ったりもしました。」

委員5「僕も原付免許を受けましたが落ちました。」

委員6「10回くらい受けに行き、免許を取ったという方もいらっしゃいます。」

委員3「委員5さんは学科で落ちたのですか？」

委員5「はい、学科でダメでした。ひっかけ問題に引っかかりました。」

委員3「ひねった問題も多いですもんね。」

委員6「大事なのが彼らがやりたいことは手伝って挑戦してもらおう事ですね。」

委員3「トライすることは大事ですもんね。」

委員6「うちでも色々なことにチャレンジして行ってほしいと思います。

携帯電話等も推奨はしないけれど、欲しいというのであれば働いて余裕があれば、持っても良いとしています。ただし、ステータスにしないようにとは言っています。利用者さんで一度変なサイトに引っ掛かり70万円程の請求が来たことがあり、それを隠していて、徐々に隠せなくなり、伝えに来たことがありました。そのような事があつたら早めに言うように伝えています。」

委員3「詐欺の電話も多いですもんね。」

委員6「チラシ等にも、幸運の〜で数珠のようなものもありますよね？それにご利用者がハガキを出されていたことがあり、そのリストに名前が載っていたそうで刑事さんから連絡が来て、発覚したこともあります。

どこに落とし穴があるかわからないので、そういった対処法なんかも本人さんができない部分を職員等がフォローしていけたらと思います。その為にも、何でも早めに言うように伝えております。」

委員6「地域連携ですが、私の知らないところで地域の皆様には迷惑をかけている部分もあると思います。そのあたりも含め日々感謝しながら過ごしております。」

委員3「自治会で迷惑というようなことはありません。反対に声をかけてもらい喜んでおられる方もおられます。」

委員7「ありがとうございます」

委員6「市の方からは何かありますか？」

委員1「事業自体が始まったばかりなので私も4月から担当しております、子供関係や介護関係の仕事をさせていただいており、やはり地域とのかかわりを活動中に入れていく事ですね。自然寮さん・自治体も高齢化ということですが…例えば子供なんかになると、地域の行事に参加し協力連携しながら今度その非常時、災害時特に地震・水害なんかの時に協力体制を作ろうという一つの目的で、地域連携を強めていければと思います。」

委員6「災害関係では国交省の管轄の行事へご利用者も参加したことがあります。自治会長さんたちも会合で住民の方も参加されていた気がします。」

委員2「そうですね、無線も6台くらいあったはずです。」

委員6「防災の日などに地域の方や各種団体が参加してもらった事もあった。もう一つは災害等があった時の避難所なんかの看板を目立つようにしてほしい。より助かるかなと思います。」

委員1「災害の資料等は作り慣れているかと思うのですが、避難時等の防災計画などは立てられていますか？」

委員6「はい、グループホームは普賢学園のほうへ避難を」

委員6「普賢災害の時はまだ、そのようなことは決まっていなかったのですが、障害がある方が一般の方と一緒に避難生活を送るのは難しいだろうということもあり、施設で提携しているところへ避難する。

一般就労先の寮へお願いしたり、他法人の施設へお願いしたこともある。働いている方は移動が難しい場合もある。

仮設住宅があった時はとても安心しました。

想定した流れを作っていたらなと思います。いざとなった時に困らないよう。

当時ご家族の方々が信頼してくれたのはとても良かったです。

避難先で重度の方が職員へ当たる。それを数時間黙って聞いていた。そういうのも災害だと思っています。その辺りまで考えてくれる。行政のどこかにあったら良いなと思っています。」

委員8「委員4様どうぞ。」

委員4「親も高齢になりその点が心配です。」

委員6「親が居なくなった時には、後見人制度というものもあります。

高齢になれば、体が動かなくなる・病院へ入院・介護施設へ入所という流れもありうる。実際そのようなになっている方もおられます。基本的には安心して次のステップへ移れるようにしています。今は、特別支援学校・就職・就労などがある。企業さんを

リタイヤ後に B 型就労それに類するものもある。寝たきり等になった場合は特養などへ。金銭的な部分も含めて見ていかなければならない。施設や通所等繋がりがりがあり情報交換もできる。そこで紹介なども生まれる。なので人と人との関わりを大事にしていきたい。地理的な部分もある。親亡き後が今は色々あります。障がい者として生まれてよかったと思える生活を送ってもらえるよう支えていけたらなと思います。」

委員 8「皆様本日は貴重なお時間をありがとうございました。」